

第6章 一般公開と広報、普及活動

1. キャリアマトリックスの広報・普及 ー開発から公表段階までー

キャリアマトリックスについては、従来開発されてきたキャリアツールの経験から、ツールの内容はもとより、「公表後、一般に速やかに普及するかどうかはツールの成否を決する」との認識のもとに、以下により展開した。

(1) 構想・開発段階からの関係者・パワーユーザーへの周知と巻き込み

キャリア関係者のうち公共職業安定所や大学・高校等のパワーユーザーに対して開発構想を具体化してゆく段階から協力を求めた。開発の初期段階から継続的に情報を提供し、一部については構想策定（2003～2008年度の開発委員会）や各種試行版への継続的なモニタリングに参加して頂いた。特にキャリア教育の先進校や若年相談機関・公共職業安定所関係者については、2002年からの各年の雇用職業研究会（公共職業安定所・民間人材企業・教育機関等の職業紹介・指導、キャリア教育等関係者対象の研究成果発表・交流会）などにおいて開発構想と開発進展状況のプレゼンテーションを行う中で、「現場の業務に活用できそう」「求人支援システムの早期完成を」等の声があり、2005年には同研究会の開催にあわせてキャリアマトリックスの体験講習を行った。この間「希望職種が上位にでてこない」「全く無関係な職業がでてくる」等のケースが報告され、情報処理手順の一部変更と情報づくりこみの改善を行い、問題の未然防止につなげた。開発途上の試作版においては、収録職業情報数が少ない段階ではあったが、全体構成と検索システムや適職探索システムを重点に関係者に試用してもらい、民間の情報サイトにも通じた人々たちからもおおむね好意的な評価と助言を得るとともに、口コミによる周知を期待した。

厚生労働省関係では、公共職業安定所等の関係機関に対して、公表を控えた2006年度初頭に職業安定局から公開予定とその利用勧奨について文書による周知が図られた。

また関係学会（日本キャリア教育学会）については、開発当初から継続的な関係研究成果発表や関係シンポジウムの開催を通じて関係専門家への周知を進めた。特に公表直前3ヶ月前の2006年6月には同学会の準研究大会ともいべき研究セミナー（一泊二日）において、関係発表・講習を集中的に行うことによりその認知度を高いものにした。

(2) 公表時点での即応体制の整備

プレスリリースと一般公開を大きなヤマとして、その直後におけるアクセス急増、問い合わせの集中等に対して支障・遅滞なく対応をとれるようにすることが求められた。このため開発スタッフやシステム専門家の集中配備により、情報提供とサーバー等のシステムトラブル対応を行った。

(3) 集中的な講習、情報送付、関係誌紙掲載等によるユーザー層の拡大

公表とほぼ同時、社会的関心の高まりにタイミングを合わせて、キャリアガイダンス関係者（大学・高校・中学・各都道府県教委、公共職業安定所等職業紹介・相談関係者、キャリア・カウンセラー、その他）に対してパンフレット（大小2種）の送付や関係講習の周知・参加勧誘を行った。

また講習については、都内・近県地域まで求めに応じて出張して講習を実施しQ&Aとアフターケアに応じて、初期段階での関係ユーザーの養成に努めた。

(4) 関係マニュアルの整備

この種開発においては、関係取扱説明書の作成は不可欠であるためツール公表以前の段階で整備した。すなわち「操作マニュアル」及び「活用マニュアル」を順次作成し、公共職業安定所職員研修や各種講習会を通じて配布した。

①操作マニュアルについては試作版を開発し、公開前の研修、講習等において使用し、使用者の声をアンケートや個別ヒアリングにより把握し、表現や構成の改善、図版の追加等によりその改善を実用版に反映した。ここではマニュアルとしての適否とともに活用の可能性や現場での使用上の制約についても聴取した。

②上記の研修・講習等の反応を踏まえて、活用マニュアルの試作版を開発し、一部の講習等で使用するとともにキャリア関係者に配布し意見を求め、その結果を実用版に反映した。

(5) 予期せぬトラブルへの対応

正規の質問・クレームルートとしてCMXサイト内に問い合わせ・質問苦情の窓口を設けた。

また公開直後に出現しがちな初期故障等の予期できないトラブルについては、(1)のパワーユーザー等関係者に改めてWebモニターを依頼するとともに、ネット空間での各種掲示板・SNS等への投稿も可能な範囲でチェックした。

(6) 他サイトへの対応

他のサイトからのリンク張りは原則自由とした。ただし写真画像等については著作権・肖像権等の関係もあり、利用ポリシーにおいて勝手な利用は認めていない旨を明記した。

(7) 実施した主要な普及活動

1) 一般公開（2006年9月）の直近段階

- ・2次実用試験版（公開予定版）の限定公開

（2006.7から公共職業安定所、学校等関係者にお知らせとパスワード送付）

- ・日本キャリア教育学会研究セミナーと関係講習会の主催（2006.6 労大）
- ・公共職業安定所関係者への予告周知

- 職業安定広報（2006.5.21）、全国安定部長会議説明（同.4）、関係事務連絡の発出（同）
- ・関係パンフと広報用資料の配布：全国都道府県教委、主要大学・短大・高校の就職部・キャリアセンター
（パンフ2種500部、新聞等の報道状況、パワーポイント説明資料）

2) プレスリリースと一般公開

- ・プレスリリース（9月 厚生労働省記者クラブでプレゼン実施）
[新聞各紙・Web・TV等の報道コピー（別添・略）]
- ・報道、Webサービス関係からの問合せ対応
- ・一般公開時点からのCMXサイトへのアクセスログの記録と解析
- ・都道府県教委、大学就職部・キャリアセンターへのCMX利用案内・パンフ2種送付

3) 一般公開後のサポート・広報等（18年度内）

- ・「パワーユーザー達のおすすめ」画面をCMXサイトに追加
- ・ツール講習（労大）
- ・公共職業安定所等への出張講習（都内）
- ・埼玉県教委キャリア・カウンセリング担当者養成講座で講習（浦和）
- ・労働政策研究・研修機構の広報誌BLTにCMX特集を実施
- ・キャリア教育学会での個別発表とCMX関係シンポジウムを実施
- ・HP、Webを通じる問合せ等への対応

2. キャリアマトリックスの普及・定着 —公表後から次年度以降—

キャリアマトリックスは、初期段階でかなりの反響を呼び、一定の普及・定着をみることができた。その後も、職業情報についてのデファクト・スタンダード・サイトとなることを目指して、2006年発表以降においても、新版発表（2008.9）を含めて次のような形で引き続き内容の充実と併せてその広報・普及に努めた。

(1) サイトのシステム追加と内容改善（第5章参照）

(2) マスコミ関係への対応

キャリアマトリックスの普及・周知とともにマスコミ関係でも次のように取り上げられた。
例)

読売（2009.10.9）「ネット版 職の百科事典」

同（2009.10.6）「厳寒 高卒就職」

(3) キャリア関係者への普及

広汎な出張講習：兵庫労働局関係公共職業安定所職員研修、兵庫県商業高校進路研究会研修、新宿ビジネス専門学校職員研修（2008）他

学会発表等：キャリア教育学会研究大会での研究発表（2007、2008）やキャリアカウンセラー講習等

JILPT 関係：労働政策フォーラムの開催（2009.2）や機関誌特集号の発行

(4) キャリア関係ビジネスへの普及

就職フェア、大学生就職支援等サービスへの利用協力

(5) キャリアマトリックスパンフレット2種、キャリアマトリックス「操作」「活用」マニュアルの改訂（2008）と配布

(6) PV 解析やトップ画面上でのアンケートによる実施利用状況の把握（第7章参照）

(7) 関係団体からのクレーム対応を通じての周知

情報公開後若干の団体から、その記述や数値特性の扱いについての問合せや情報追加・改訂要請等が寄せられた。これに対して研究員の訪問・説明等を通じてキャリアマトリックスへの理解が深まるとともに内容の改善や写真の改訂につながった。

3. 労働政策フォーラム

(1) 労働政策フォーラム第24回「若者と向き合うキャリアガイダンス～総合的職業情報データベース『キャリアマトリックス』の活用を中心に～」2007年3月20日（火）

前年9月に一般公開を開始したキャリアマトリックスの機能等を紹介し、キャリアマトリックスの活用事例を通じて、若年者のキャリアガイダンスにおける職業情報の提供の役割やあり方について検討した。また、このフォーラムに引き続き、実際にPCを使用してキャリアマトリックスの講習会を行った。

具体的なプログラム等は以下の通り。

○日時 2007年3月20日（火） 13:30～17:30

○場所 学術総合センター・中会議場（学術総合センタービル2階）

○プログラム 13:30～15:30

基調報告「キャリア教育・就職支援における職業情報提供の役割」

木村周 東京成徳大学 客員教授

紹介「キャリアマトリックスの機能と仕組み」

松本真作 労働政策研究・研修機構（JILPT） 主任研究員

報告「キャリアマトリックスの活用事例」

本間啓二 日本体育大学 助教授

降幡勇一 ヤングハローワーク渋谷 統括職業指導官

フロアとの質疑応答

コーディネーター 吉田修 労働政策研究・研修機構 統括研究員

○キャリアマトリックス講習会 16:00～17:30

石井徹 労働政策研究・研修機構（JILPT） 主任研究員

（2）労働政策フォーラム第37回「総合的職業情報データベース：キャリアマトリックスの新展開～若年のキャリア形成と企業における人材活用の支援に向けて～」2009年2月13日（金）

2008年9月に公開を開始した「新版キャリアマトリックス」では、大学等における就職指導やキャリアガイダンス、企業の能力開発や円滑な職種転換等の支援を目的として、若者・学生、企業向けの情報・機能を拡充させた。この「新版キャリアマトリックス」を紹介し、相談現場等での活用事例の報告を通して、若者のキャリア形成や企業における人材活用の支援などについて検討した。

具体的なプログラム等は以下の通り。

○日時 2009年2月13日（金） 13:30～17:00

○会場 浜離宮朝日ホール 小ホール

○プログラム

13:30-13:50 基調報告 ～開発の背景とこれまでの展開～

吉田 修 JILPT 特任教授

13:50-14:30 「新版キャリアマトリックス」～研究開発とその機能～

松本 真作 JILPT 副統括研究員

14:30-17:00 パネルディスカッション

パネリスト

本間 啓二 日本体育大学 教授

山本 公子 こころとキャリアのカウンセリングオフィス 結（ゆう） 代表

剣持 勝 産業カウンセラー・キャリアコンサルタント

町田 秀樹 株式会社アスピレックス 代表取締役社長

コーディネーター 西村 公子 JILPT 統括研究員